

総合的な学習の時間 学習指導案

日時 令和7年2月6日(木)
第5校時 13:20~14:05
対象 第4学年A組 25名
学校名 加西市立富合小学校
授業者 渡邊 幸太
会場 4年A組教室

1 単元名 「わたしたちが考えるまち ~マイクラフトを活用して、みんなが暮らしやすいまちをつくらう~」

2 単元目標

- 福祉に関わる人の話を聞いたり、福祉体験をしたりすることを通して、福祉の意味、高齢者や障がいがある人の思いや願いを理解するとともに、自分の課題を見つけ、課題解決のために必要な知識・技能を身につけることができる。
【知識、技能】
- 課題解決に向け、方法を選択して情報を収集し、分かりやすくまとめたり、相手に伝えたりすることができる。
【思考、判断、表現】
- 課題解決に向けて主体的に、また、友だちと協力し合いながら取り組み、自分にできることはないかを考え、実践していくことができる。
【学びに向かう力、人間性】

3 指導にあたって

児童観	教材観
本学級の児童は、4年生の1学期に「福祉」について調べたり、様々な体験を行ったりしてきた。その中で、高齢者や障がいのある人の生活での不便さや苦労を実感し、その人たちの気持ちを考えられるようになってきている。 しかし、福祉本来の意味である「みんなが幸せであること」や「みんなが暮らしやすい」といったことについてイメージができない児童が多くいる。また、福祉学習について、個別では調べ学習やまとめ学習を行っているものの、友だちとの協働的な学びは不十分である。そこで、これまでの体験を基に、多様な意見を出し合い、情報交換しながら学級全体で考えたり話し合ったりして、課題に向き合っていくことが求められる。	4年生の児童は、10歳という節目や思春期が訪れ、周りの人々の考えや生き方に関心を持ち始める時期である。その時期に、高齢者や障がいのある人と触れ合う体験は、他人を思う心や他人の痛みを感じる心などの、共に生きるための豊かな人間性や社会性を培うことができると考えられる。本単元は、障がいのある人についての講話やキャップハンディ体験を通して、自分たちの地域に住んでいる高齢者や身体に障がいのある人などの実情や思いを知ることができる単元である。また、すべての人が安心して暮らせるまちにするためには、多様な意見を取り入れる必要があるため、協働的な学びから自分たちにできることが何かを考えやすいものとなっている。

指導観

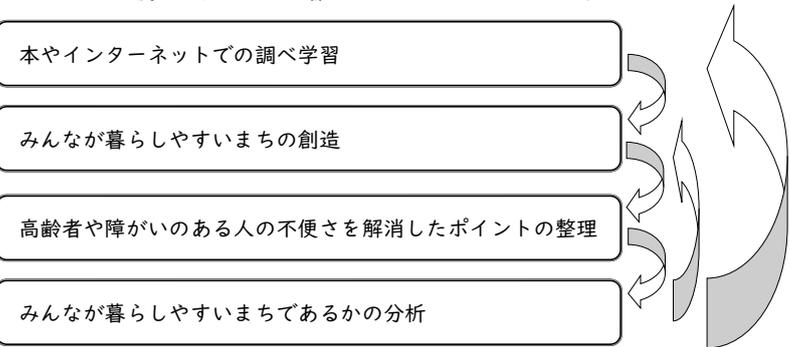
マイクラフト（以下マイクラ）を使用することについて

- ①児童全員が主体的に取り組むことができる手段である。（1月実施「マイクラフトについてのアンケート」より）
- ②協力してまちを作り上げていくため、協働的な学びに適している。（2学期にマイクラを使用して）
- ③みんなが暮らしやすいまちのイメージを映像化できる。
- ④実際にそのまちに入り、暮らしやすさを体験できる。

目指す子どもの姿

- ①高齢者や障がいのある人だけでなく、みんなが暮らしやすいまちについて考えることができる。
- ②マイクラを通して友だちと協働的に学習を行い、新たな表現方法を身につけることができる。

4 指導計画 38時間（1学期16時間、2学期10時間、3学期12時間）

過程	時間	学習課題（○）と主な学習活動（・）	主な評価の観点（ ）方法【 】
一学期 課題設定	2	○なぜ、福祉について学ぶのだろうか。 ・福祉とは何かについて考える。 ・学校内を歩き、生活が難しい場所等について話し合う。 ・学習計画を立てる。	・福祉について関心を高めている。 （主）【ワークシート・発言】
情報収集、整理・分析	12	○高齢者や障がいのある人の生活について知ろう。 ・点字、認知症、高齢者、体の不自由さについて知る（本・インターネット）。 ・点字体験 ・認知症サポーター養成講座&高齢者疑似体験 ・アイマスク体験 ・車いす体験 ・各体験を通して、みんなが暮らしやすいまちについて考える。	・高齢者や障がいのある人についての情報を集め、理解している。 （知・技）【ワークシート・発言】 ・各体験を通して、高齢者や障がいのある人の不便さについて考えることができる。 ・みんなが暮らしやすいまちについて考えることができる。 （思・判・表）【ワークシート・発言】
まとめ・表現	2	○みんなが暮らしやすいまちについて発表しよう。 ・ワークシートにまとめる。 ・発表する。	・自分で考えたものを分かりやすく発表することができる。 （思・判・表）【ワークシート・発言】
二学期 手段の体験	10	○マイクラを使ってみよう。 ・マイクラについて知る。 （マイクラを授業で扱うことの意味・操作方法） ・社会科「自然災害からくらしを守る（風水害からくらしを守る）」と関連させ、水害に備えたまちをつくる。 ・社会科「谷に囲まれた台地に水を引く」とさせ、通潤橋をつくる。	・マイクラに興味をもっている。 （主）【発言】 ・マイクラの効果を理解するとともに、基本的な操作ができる。 （知・技）【マイクラの基本操作】 ・教科横断的に社会科の知識も交えながら、友だちと意見交流ができる。 （思・判・表）【発言】
三学期 課題設定	2	○みんなが暮らしやすいまちのアイデアを考えよう。 ・1学期の福祉学習から、現在のまちの課題を明らかにする。 ・2学期の社会科から、高齢者や障がいのある人が避難できるまちについて、課題を出し合う。 ・学校外を歩き、生活が難しい場所等について話し合う。	・解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てようとしている。 （主）【ワークシート・発言】
情報収集、整理・分析	8【本時4/8】	○マイクラを使って、みんなが暮らしやすいまちをつくらう。 	・必要な情報を収集し、蓄積している。 （知・技）【ワークシート】 ・班の友だちと協力しながら、みんなが暮らしやすいまちをつくることができる。 （知・技、思・判・表、主） 【マイクラ ワールドの完成度・発言】 ・情報収集、整理・分析を繰り返し行うことができている。 （思・判・表）【発言】
まとめ・表現	2	○マイクラでつくったみんなが暮らしやすいまちを紹介しよう。 ・みんなが暮らしやすいまちを紹介する。 ・良い部分・改善が必要なポイントを伝え合う。 ・「福祉」学習についてまとめる。	・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ表現することができる。 （思・判・表）【発表】 ・学習をふりかえり、今後の生活に生かそうとしている。 （主）【ワークシート】

5 本時案

(1) 目標：友だちと協力しながら、みんなが暮らしやすいまちをつくることができる。

(2) 準備：タブレット端末（マイクラ）、福祉に関する本、ワークシート

(3) 展開

時配	○学習活動 C：児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
10	めあて：みんなが暮らしやすいまちをつくろう。Part4	
(5)	○前時に作成したマイクラの世界を見せ合い、意見交流をする。 (A班⇄B班、C班⇄D班)	◎タブレット端末 ◎福祉に関する本
(5)	○課題を出し合い、本時の計画を立てる。(班) C：目が不自由な人のための工夫がなかったね。 C：点字ブロックみたいなのは作れるかな？ C：じゃあ今日は点字ブロックをつくってみよう。 C：わたしは、車いすの人が生活しやすいように、スロープをつくってみるね。	◎ワークシート(計画欄) ◇各班の意見を意識させ、個人的な考えにならないようにさせる。
25	○マイクラでまちをつくる。 (個人で活動・班で協力・ほかの班との意見交流) C：点字ブロックみたいなのがつくれたよ。 C：どうやってつくれるの？ C：こうやってつくれるよ。この範囲を一緒につくろう。 C：ここは、目が不自由な人が歩きやすいように、点字ブロックをつくったよ。 C：点字ブロックがありすぎたら、目の不自由な人にとってはいいことだけど、逆に歩きづらい人も出てくるんじゃないかな。 C：みんなが暮らしやすいまちだから、そこも考えないといけないな。 C：階段が多すぎて、目の見えにくい人がこわいかな？ C：でも、現実では階段がない世界はないし、この場所にスロープやエレベーターを設置するのは難しいな。 C：こういう時は、誰かが付き添って助け合ったらいいんじゃないかな。	◇操作の仕方について教え合ってもよいことを伝える。 ◎ワークシート(メモ欄) ◇高齢者や障がいのある人だけでなく、みんなが暮らしやすいまちであるかをポイントに話し合うよう伝える。 ◇長時間個人で活動をしている児童がいた場合、班で協力するように促す。 ◆班の友だちと協力しながら、みんなが暮らしやすいまちをつくることことができる。 (思)【マイクラ ワールドの完成度・発言】
10	○意見を交流する。(班)	◇感想だけにならないように、まちの良さや工夫についてなど、ポイントを意識させ、意見を交流させる。
(5)	C：まずは、いったんまちを探検してみよう。 C：今日はどこまでできたか、どんな工夫をしたかを出し合おう。 C：今日は点字ブロックをつくったよ。現実のまちの中でも駅の近くに多いから、駅周辺につくってみよう。 C：同じ建物に、階段とスロープをつくっている班があったよ。わたしは、普段は階段を使うけど、けがをして車いすに乗った時にはスロープを使うと思うから、どちらかを選ぶことができているなと思ったよ。 ○本時のふり返しをする。(個) C：障がいのある人だけでなく、高齢者のことも考えたまちをつくりたいと思いました。 C：階段とスロープがあって、選べることは暮らしやすいことだと気づきました。 C：みんなが暮らしやすいまちについて、もう1度調べてみようと思いました。 C：自分自身が暮らしやすいまちって何だろうと考えてみたけど難しかったです。また、生活の中で考えてみたいです。	◎ワークシート(ふり返し欄) ◆学習をふりかえり、今後の生活に生かそうとしている (主)【ワークシート】

